

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月13日

上場会社名 gooddaysホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4437 URL http://gooddays.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務・経理本部長 (氏名) 高尾 秀四郎 (TEL) 03-3261-8300
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	4,207	16.7	278	41.4	280	41.0	176	34.8
2019年3月期第3四半期	3,606	—	196	—	198	—	130	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 178百万円(36.1%) 2019年3月期第3四半期 130百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	53.48	48.28
2019年3月期第3四半期	50.87	—

(注) 1. 当社は2018年3月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 当社は2018年9月20日開催の取締役会決議により、2018年10月5日付で普通株式1株につき3株の割合で、また、2019年11月21日開催の取締役会決議により、2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で、株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,608	1,603	61.5
2019年3月期	2,562	1,356	52.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 1,603百万円 2019年3月期 1,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	20.2	370	19.3	369	22.8	239	20.8	72.59

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は2018年9月20日開催の取締役会決議により、2018年10月5日付で普通株式1株につき3株の割合で、また、2019年11月21日開催の取締役会決議により、2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で、株式分割を行っております。2020年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	3,305,600株	2019年3月期	3,240,000株
2020年3月期3Q	16株	2019年3月期	16株
2020年3月期3Q	3,300,336株	2019年3月期3Q	2,573,358株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

- (注) 当社は2018年9月20日開催の取締役会決議により、2018年10月5日付で普通株式1株につき3株の割合で、また、2019年11月21日開催の取締役会決議により、2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で、株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数(自己株式を含む)」「期末自己株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ目「業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

長期的な社会問題となっている、働き方改革等は、ITセグメントと暮らしTechセグメントで構成されている当社グループにとって大きな成長機会をもたらしています。一方、人手不足はグループ全体の継続的な経営課題であり、その対策として2016年4月より新卒採用に力を入れております。2019年4月の新卒採用では、グループ全体で総勢45名を採用いたしました。

ITセグメントが注力する流通小売・金融分野においても、人材不足や働き方改革などを背景として、業務プロセスの効率化(省力化、業務コスト削減)への設備投資需要が2018年から増加基調にあり(出典：一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会「2019年1月25日付ニュースリリース」)、RPA(ロボティクス・プロセス・オートメーション)やFintechの活用、大口顧客からの店舗省力化システム開発など、新たな需要が拡大しています。従前からのSEサービスやサーバー機器等の販売も、受注が順調に推移しております。

一方、暮らしTechセグメントが注力する不動産市場においては、新設住宅着工戸数が、2025年度には73万戸、2030年度には63万戸と減少する見込みであるのに対し、リフォーム市場は2030年まで年間5～6兆規模での横ばいが予想されております(出典：株式会社野村総合研究所「2019年6月20日付ニュースリリース」)。とりわけ、空き家・空室は大きな社会問題であり、空き家・空室にさせない、賃貸需要を喚起する賃貸住宅のリノベーションのニーズは高く、賃貸の集客サイトであるgoodroomを運営する暮らしTechセグメントにおいて、リノベーションの受注が順調に推移しております。

グループ全体の、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,207百万円(前年同期比16.7%増)、営業利益は278百万円(前年同期比41.4%増)、経常利益は280百万円(前年同期比41.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は176百万円(前年同期比34.8%増)となりました。

セグメント業績は次のとおりであります。

① ITセグメント

ITセグメントは、SEサービスビジネス、請負ビジネス及び物販ビジネスの3つから構成されています。

SEサービスビジネスにおいては、従来からの保守業務について主要顧客と業務のアウトソーシングが進捗したほか、流通小売・金融分野での売上が順調に推移しております。

請負ビジネスにおいては、第1四半期連結会計期間での次期店舗省力化システム開発及び基幹システム改善開発の大口顧客、第2四半期連結会計期間での軽減税率対応システム改修開発に加えて、当第3四半期連結会計期間にPOSシステム刷新開発の大口顧客向けの開発が始まるなど、受注が切れ目なく続き、セグメント売上高の成長に貢献しております。

物販ビジネスでは、サーバー等機器販売が引き続き好調に推移しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,571百万円(前年同期比11.8%増)、セグメント利益(営業利益)は354百万円(前年同期比124.2%増)となりました。

② 暮らしTechセグメント

暮らしTechセグメントは、リノベーションビジネス、不動産仲介ビジネス、運営ビジネス、メディアビジネスの4つから構成されています。なお、前期まで不動産仲介オペレーションビジネスは、当期より不動産仲介ビジネスと運営ビジネスに分けております。

リノベーションビジネスでは、リノベーション全般に対する高い需要に支えられ、goodroom(<https://www.goodrooms.jp/>)を活用したTOMOSリノベーションパッケージの拡販及び資本業務提携先とのリノベーションビジネスが堅調に推移いたしました。尚、大型物件の一部で工程遅延が発生し、利益が抑えられました。尚、当第3四半期連結会計期間内に工程の見直しを終了しております。

不動産仲介ビジネスでは、goodroomサイトを利用し仲介手数料を得る事業を中心に展開し、エリアの拡大と人員強化を図りましたが、業績が伸び悩んだため、当第3四半期連結会計期間に業務効率を見直し、仲介ビジネスの相当部分について外部委託を活用する事で、第4四半期連結会計期間に向けた業務体制を整えました。

運営ビジネスでは、第1四半期連結会計期間に実施した薬院(福岡)・呉服町(福岡)・本町(大阪)・有楽町(東京)・要町(東京)の5拠点でシェアオフィス及びサービスアパートメントへの先行投資をした結果、当第3四半期連結会計期間までに稼働し始め、売上につながって、先行投資のキャッチアップが進捗しております。

す。

メディアビジネスでは、goodroomサイトの広告手数料増収施策として、賃貸物件管理会社開拓を強化し、メディアによる反響課金の増加を図りました。また、goodroomサイトのマンスリー・アクティブ・ユーザー数(MAU)の向上のため、継続的に広告活動やサイト改善に取り組み、2019年12月末日におけるMAUは、引越需要に向けて80万人に達しております。

以上の結果、第3四半期連結累計期間における売上高は、1,636百万円(前年同期比25.2%増)、セグメント損失(営業損失)は90百万円(前年同期は営業利益21百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,608百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円増加いたしました。

これは、ITセグメントの請負案件および暮らしTechセグメントのリノベーション売上に伴う売掛金の50百万円の増加、棚卸資産が57百万円の減少、また、新規のシェアオフィス、サービスアパートメントの拠点の開設に伴う有形固定資産の増加34百万円、新規ソフトウェア開発による無形固定資産の増加12百万円、新規資本業務提携等による投資有価証券の増加23百万円、敷金その他の投資の増加63百万円等による固定資産が152百万円の増加、現預金の105百万円の減少等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は1,005百万円となり、前連結会計年度末に比べ200百万円減少いたしました。これは、買掛金の156百万円の減少、賞与引当金の43百万円の減少、長期借入金の8百万円の減少等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,603百万円となり、前連結会計年度末に比べ247百万円増加いたしました。これは、当第3四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益の増加による利益剰余金が176百万円の増加、オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資による資本金37百万円、資本剰余金31百万円の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、2019年5月13日に発表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	914,302	808,553
売掛金	1,016,692	1,067,176
商品	12,256	6,807
未成工事支出金	95,672	45,392
原材料及び貯蔵品	20,508	18,299
その他	57,199	63,566
流動資産合計	2,116,632	2,009,796
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,606	107,134
減価償却累計額	△4,440	△20,003
建物及び構築物(純額)	16,165	87,131
建設仮勘定	63,467	13,932
その他	19,786	37,306
減価償却累計額	△17,452	△21,708
その他(純額)	2,334	15,598
有形固定資産合計	81,967	116,662
無形固定資産		
ソフトウェア	5,193	17,666
無形固定資産合計	5,193	17,666
投資その他の資産		
投資有価証券	11,185	34,279
繰延税金資産	61,802	81,381
その他	285,731	348,863
投資その他の資産合計	358,719	464,524
固定資産合計	445,879	598,853
資産合計	2,562,511	2,608,650

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	528,424	372,356
短期借入金	199,432	193,000
未払金	137,434	140,125
前受金	39,491	57,029
未払法人税等	100,294	76,420
賞与引当金	77,257	33,348
完成工事補償引当金	6,053	6,857
その他	105,677	120,544
流動負債合計	1,194,065	999,681
固定負債		
長期借入金	8,736	—
その他	3,233	5,369
固定負債合計	11,969	5,369
負債合計	1,206,035	1,005,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	124,100	161,492
資本剰余金	664,649	696,058
利益剰余金	561,089	737,582
自己株式	△2	△2
株主資本合計	1,349,836	1,595,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,130	7,958
その他の包括利益累計額合計	6,130	7,958
新株予約権	510	510
純資産合計	1,356,476	1,603,599
負債純資産合計	2,562,511	2,608,650

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	3,606,164	4,207,682
売上原価	2,595,652	2,915,643
売上総利益	1,010,511	1,292,038
販売費及び一般管理費	813,775	1,013,897
営業利益	196,736	278,141
営業外収益		
受取利息	2	23
受取配当金	106	192
受取保険金	—	737
補助金収入	570	162
確定拠出年金返還金	316	1,605
その他	2,713	793
営業外収益合計	3,708	3,514
営業外費用		
支払利息	1,866	1,425
株式交付費	—	55
その他	8	171
営業外費用合計	1,874	1,652
経常利益	198,571	280,003
税金等調整前四半期純利益	198,571	280,003
法人税、住民税及び事業税	60,313	124,056
法人税等調整額	7,341	△20,545
法人税等合計	67,654	103,510
四半期純利益	130,916	176,492
親会社株主に帰属する四半期純利益	130,916	176,492

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	130,916	176,492
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68	1,828
その他の包括利益合計	68	1,828
四半期包括利益	130,984	178,321
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	130,984	178,321

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年3月25日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。この株式上場にあたり、2019年4月23日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資による新株式発行32,800株により、資本金が37,392千円及び資本準備金が31,409千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間末において、資本金が161,492千円、資本剰余金が696,058千円となっております